2010年3月期　中間決算説明会
（社団法人日本証券アナリスト協会主催）

東リ株式会社

2009年 12月 8日

＊本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

目　　次

Ⅰ．2010年3月期　中間決算概要

中間期の経営環境　P. 4

連結売上高・利益の推移　P. 5

連結セグメント別情報　P. 6

連結貸借対照表概要　P. 8

連結キャッシュフロー計算書概要　P. 9

主要項目の概要　P. 10

2010年3月期業績見通し　P. 11

Ⅱ．中期経営計画『変革と挑戦 2011』
概要と進捗状況について

中期経営計画の概要　P. 13

重点戦略の進捗状況　P. 14

新製品紹介　P. 17

重点戦略を実現するための
インフラ強化　P. 20

Ⅲ．将来の成長に向けた施策について

対処すべき課題　P. 23

今後実施する施策　P. 24

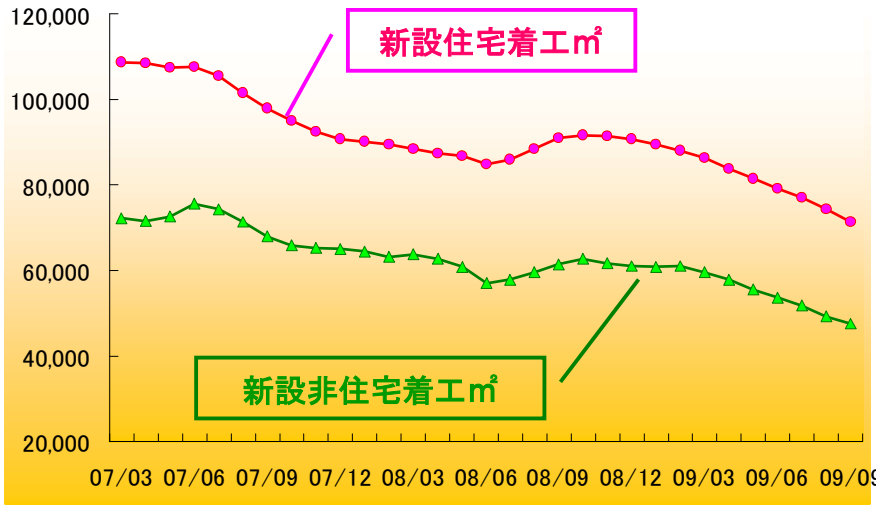
創立90周年を迎えて　P. 25

Ⅰ．2010年3月期

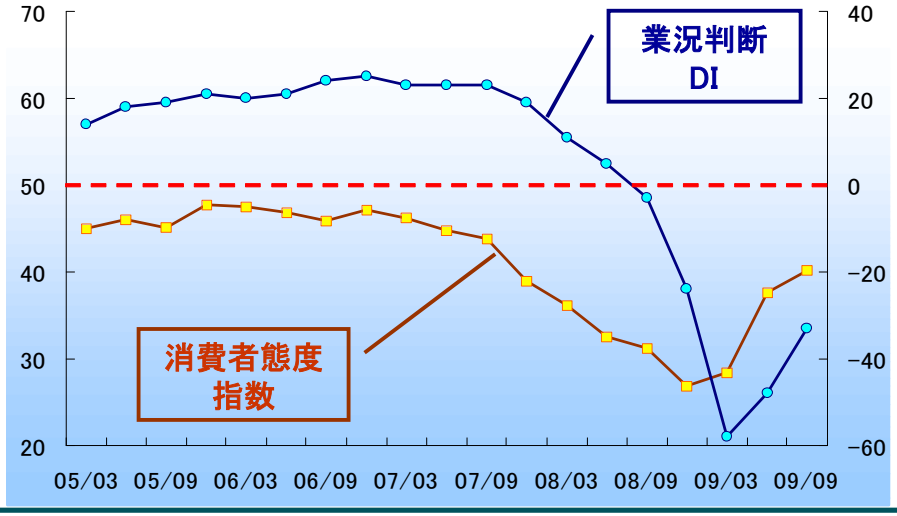
中　間　決　算　概　要

2010年3月期中間の経営環境

◆ 住宅・非住宅の新設着工量が大幅に減少



◆ 個人・企業ともマインドが大幅に低下



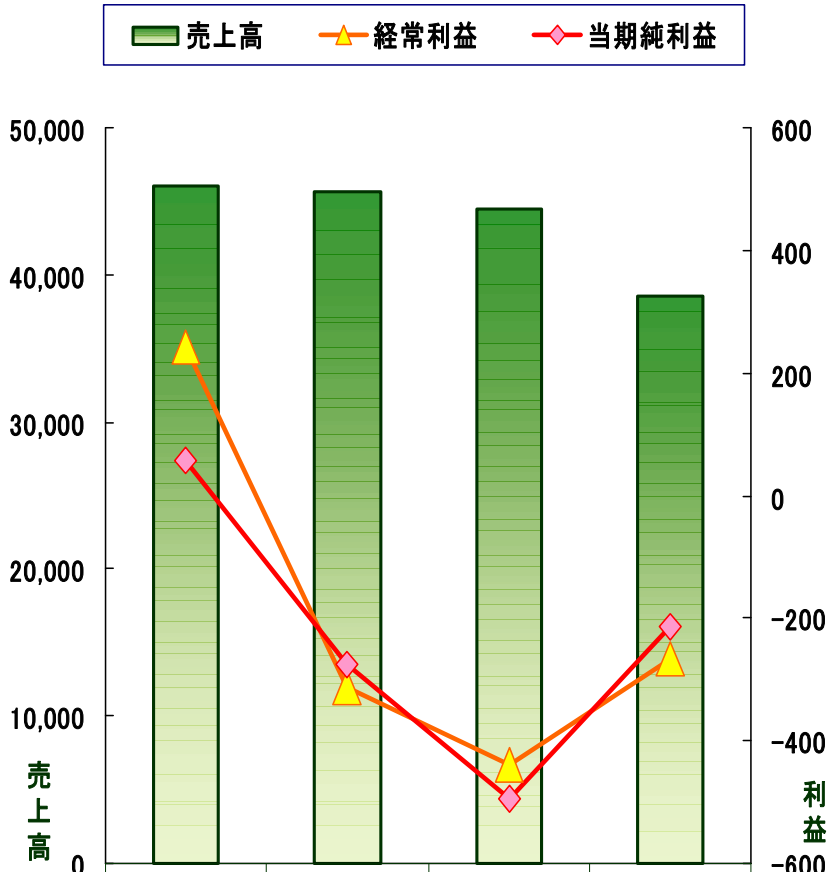
事業全般の
売上減少要因に

◆ 昨年来実施施策推進
◆ 原価低減策実施
◆ 販管費圧縮

連結売上高・利益の推移

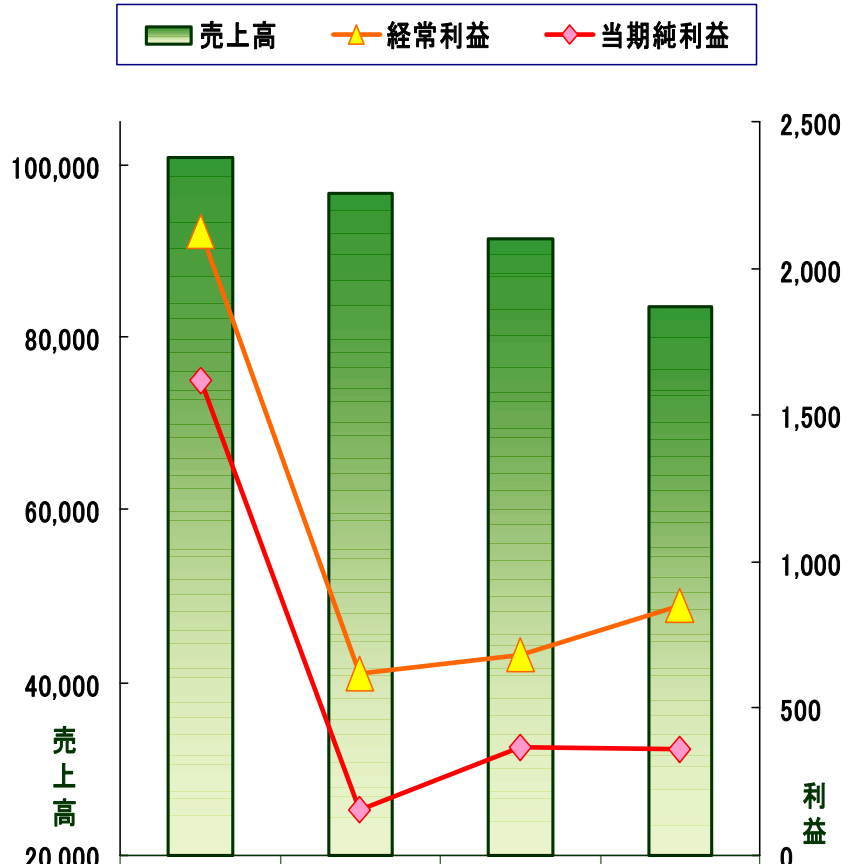
（単位：百万円）

【 中 間 】



	2007.3月期 中間	2008.3月期 中間	2009.3月期 中間	2010.3月期 中間
売上高	45,988	45,674	44,419	38,553
経常利益	243	-312	-441	-266
当期純利益	56	-276	-494	-214

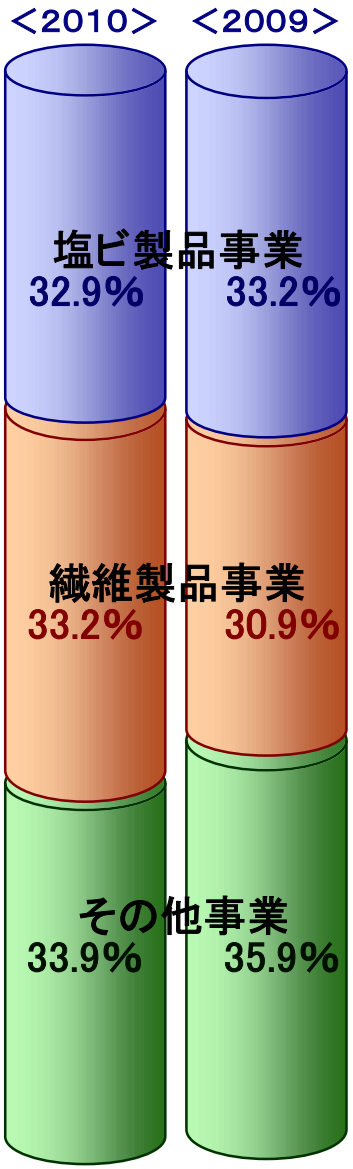
【 通 期 】



	2007.3月期	2008.3月期	2009.3月期	2010.3月期 (予)
売上高	100,936	96,641	91,329	83,500
経常利益	2,128	618	682	850
当期純利益	1,619	152	366	360

連結セグメント別売上構成

（中間期　売上構成）



塩ビ製品事業

- ビニル床タイル
- ビニル床シート
- クッションフロア

店舗用ビニル床タイル

医療・福祉施設用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ

繊維製品事業

- タイルカーペット
- ロールカーペット
- パネルカーペット
- カーテン

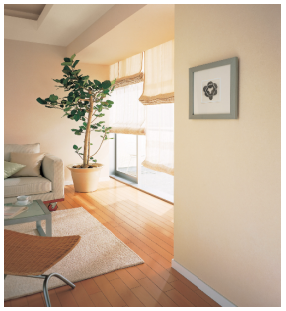
ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾛｰﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

カーテン

その他事業

- 壁装材
- 接着剤他
- 販売会社仕入商品
  （ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ･カーテンレール他）

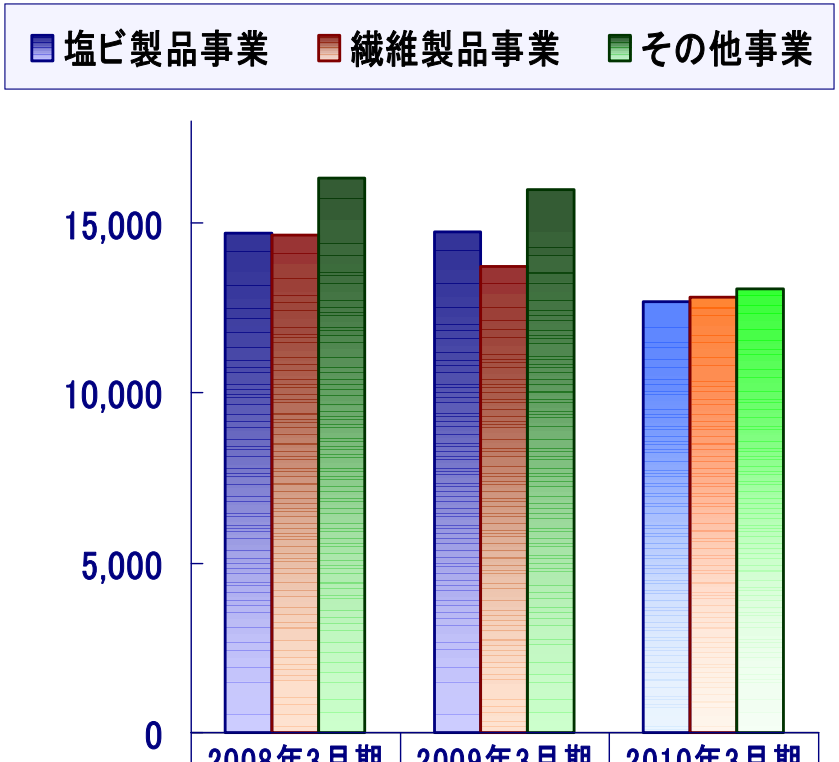

壁装材

化粧仕上げ壁材

腰壁ﾀｲﾌﾟ

連結セグメント別実績

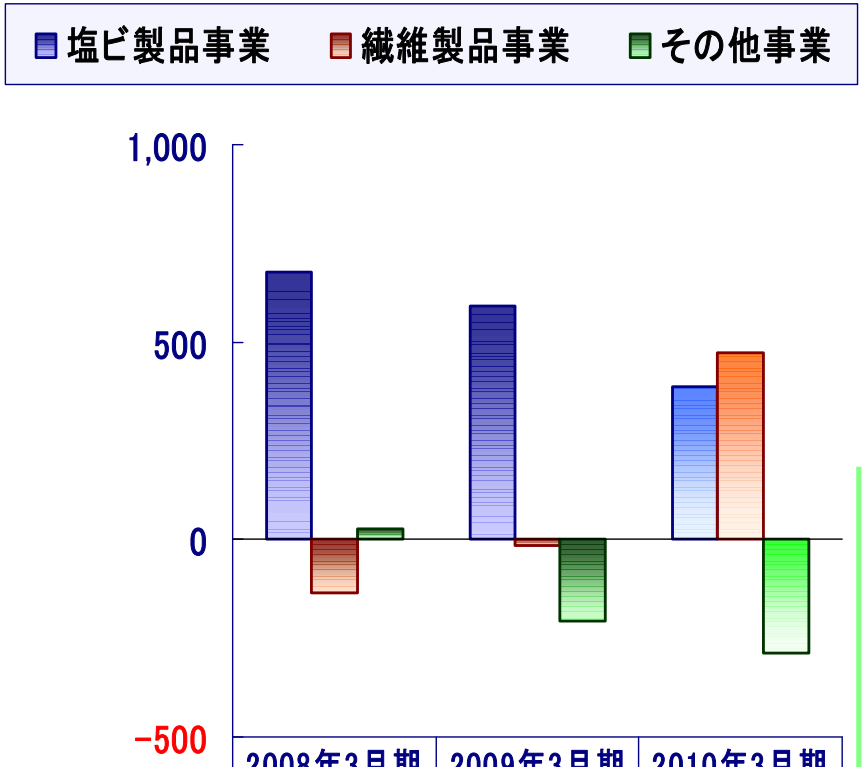
売上高



	2008年3月期 中間	2009年3月期 中間	2010年3月期 中間
塩ビ製品事業	14,718	14,728	12,690
繊維製品事業	14,639	13,734	12,809
その他事業	16,316	15,956	13,053

営業利益

（単位：百万円）



	2008年3月期 中間	2009年3月期 中間	2010年3月期 中間
塩ビ製品事業	675	591	387
繊維製品事業	-133	-15	472
その他事業	25	-207	-289
*本社共通費	786	741	796

連結貸借対照表概要

（単位：百万円）

	2009年9月末	2009年3月末	2008年9月末		2009年9月末	2009年3月末	2008年9月末
売掛債権	19,326	24,767	22,683				
棚卸資産	8,131	8,567	9,555	仕入債務	18,176	22,489	22,245
流動資産	35,385	40,513	39,180	流動負債	22,482	26,612	25,577
有形固定資産	17,973	18,333	18,150	固定負債	14,888	15,571	15,622
無形固定資産	985	1,032	1,164	負債合計	37,371	42,184	41,200
投資他資産	7,283	6,926	7,452	株主資本	23,338	23,989	23,328
固定資産	26,241	26,291	26,767	純資産合計	24,255	24,621	24,747
資産合計	61,627	66,805	65,948	負債及び純資産合計	61,627	66,805	65,948

【 資産 】 2009年3月末比

- ●売掛債権の減少 △5,441
- ●棚卸資産の減少 △ 435

【 負債 】 2009年3月末比

- ●仕入債務の減少 △4,313
- ●借入金の減少 △ 400

【 純資産 】 2009年3月末比

- ●配当等による利益剰余金の減少 △ 650
- ●株式評価差額の増加 ＋ 289

※自己資本比率 39.0%
（前期末 36.5%）

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2010年3月期 中間	2009年3月期 中間	増　減
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	2,266	1,876	389
税金等調整前当期純利益	△ 277	△ 620	342
減価償却費	951	922	28
その他	1,592	1,573	18
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,214	△ 1,013	△ 201
有形固定資産の取得による支出	△ 787	△ 871	84
無形固定資産の取得による支出	△ 243	△ 71	△ 172
その他	△ 186	△ 70	△ 113
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 977	△ 751	△ 225
Ⅳ　現金及び現金同等物の増加額	73	111	△ 37
Ⅴ　現金及び現金同等物の期首残高	6,155	4,783	1,371
Ⅵ　新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	－	－	－
Ⅶ　現金及び現金同等物の期末残高	6,228	4,895	1,333

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- ●当期純利益の赤字幅が縮小
- ●たな卸資産が減少

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- ●無形固定資産取得による支出が増加

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- ●長期未払金返済による支出が増加
  （リース会計基準変更による）

主要項目の概要(連結)

(単位:百万円)

	2010年3月期 中間 (09/4 - 09/9)	2009年3月期 通期 (08/4 - 09/3)	2009年3月期 中間 (08/4 - 08/9)	前年同期比 増 減
設備投資額	1,031	1,668	942	88
減価償却費	951	1,927	922	28
研究開発費	222	401	187	34

				2009年3月末比
有利子負債残高	9,740	10,140	9,810	△ 400

2010年3月期業績見通し

（単位：百万円）

	連結			2010年3月期 年初予想
	2009年3月期	2010年3月期見通	（増減）	
売上高	91,329	83,500	△ 7,829	90,000
営業利益	727	1,000	273	1,000
経常利益	682	850	168	850
当期純利益	366	360	△ 6	360

・企業設備投資や建築関連先行指標の悪化

・製造メーカーの強みを活かした営業展開
（顧客ニーズへの即応、新製品の垂直離陸など）

・徹底した経費削減と原価低減の推進

前年度対比で減収も
営業・経常増益見通し

Ⅱ. 中期経営計画『変革と挑戦 2011』
概要と進捗状況について

中期経営計画の概要

変革と挑戦 2011

（2009年度～2011年度中期経営計画）

“変革を成し遂げ、『創造的進化』に向けた積極経営を推進する”

連結売上高：1,000億円　連結経常利益：30億円
連結ROA（総資産経常利益率）：4%

- Ⅰ．レジデンシャル（住宅）市場攻略と事業拡大
- Ⅱ．環境対応力の強化
- Ⅲ．新分野への挑戦

技術に立脚した事業基盤強化

販売組織・営業活動の効率向上　／　プロモーション技術の進化

ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ経営の推進　／　人材開発・育成への注力　／　ｸﾞﾙｰﾌﾟCSRの確立

『変革と挑戦 2011』重点戦略①

レジデンシャル（住宅）市場攻略と事業拡大

- 莫大な住宅（ストック）市場
- リフォーム市場は今後も堅調
- フローリングが住宅床材の60%
- 住宅向け商材が少なく優位性低い
- 前中期計画で小口チャネル拡大済み

- 住宅市場向け新商材の開発
- 市場浸透力の強化

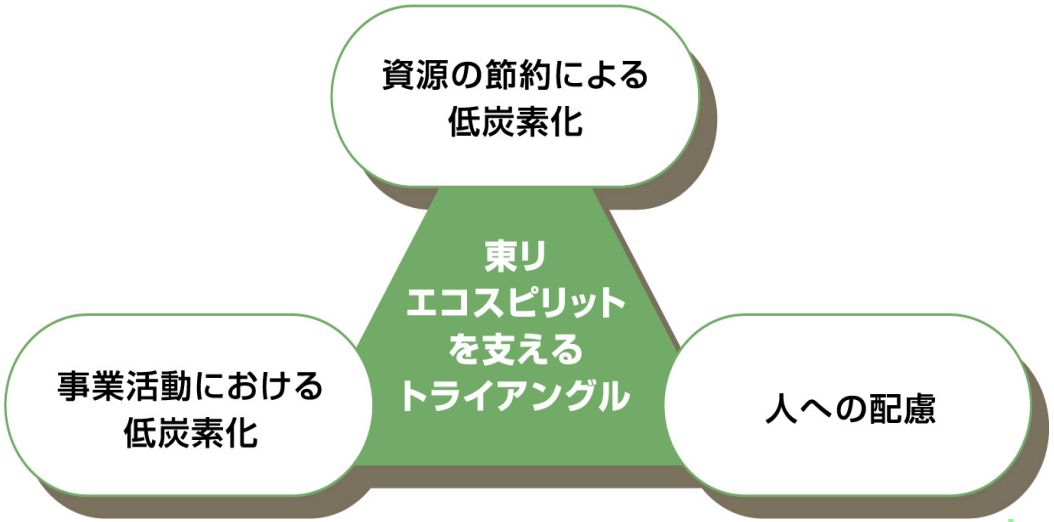
→

- ペット対応床材など機能性に優れた新製品の上市
- 現有技術・商材の住宅用途への拡大・転用
- 商材開発に向けた営業の強化

『変革と挑戦 2011』重点戦略②

環境対応力の更なる強化

TOLI ECO SPIRIT



環境対応商材の開発

環境情報の収集・ニーズ把握

エコマーク取得品など
環境配慮型新製品の上市

工場設備でのCO_2・消費電力削減

廃棄物削減の推進および
工場内端材再利用率の向上

『変革と挑戦 2011』重点戦略③

新分野への挑戦

国内新築市場の縮小

原材料価格（原油相場）の高騰

経営資源投下により新技術を確立し
既存事業以外の利益源創出が必須

5年～10年先に向けた【新たな収益の柱】を育む

周辺市場・異分野との連携強化

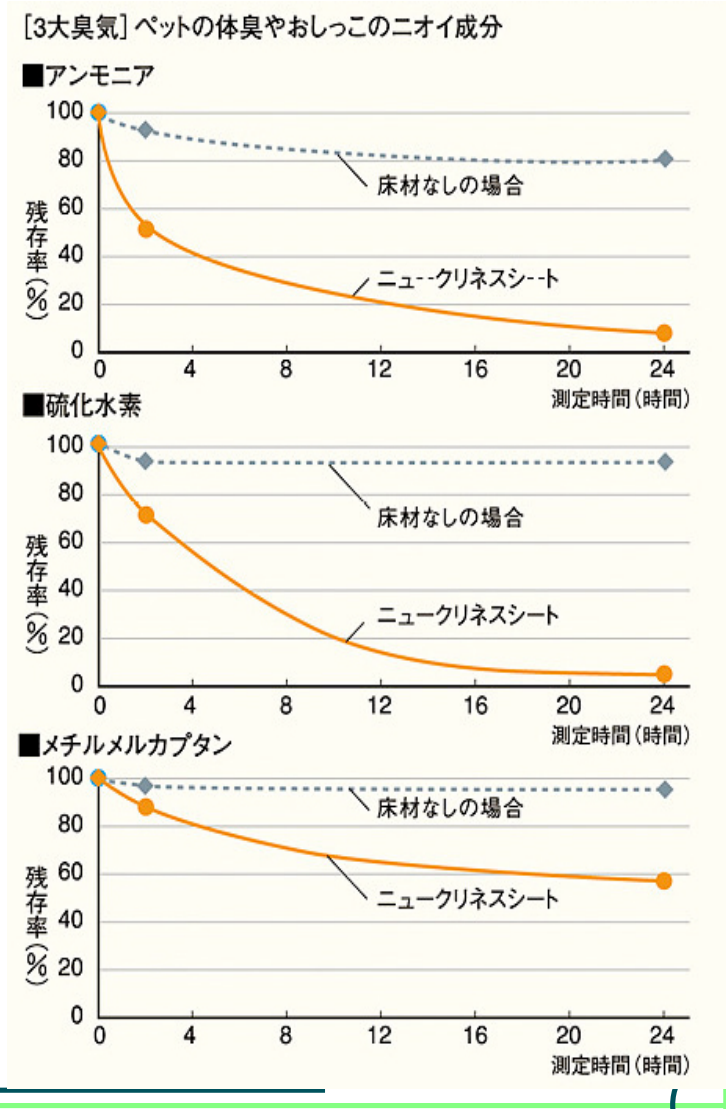
新規アイデア抽出風土の醸成
（各部署および部署横断会議等）

新製品紹介①（住宅市場）

ニュークリネスシート　ペット対応ビニル床シート

【 特 徴 】

- ◆ 傷がつきにくく、お手入れが簡単
- ◆ 滑りにくくソフトな肌触り
- ◆ 消臭分解機能が半永久的に持続



快適内装材

犬家猫館®
イヌヤ.ネコタチ.
http://www.inuyanekotachi.com
ペットと快適に暮らす家づくり、情報サイト

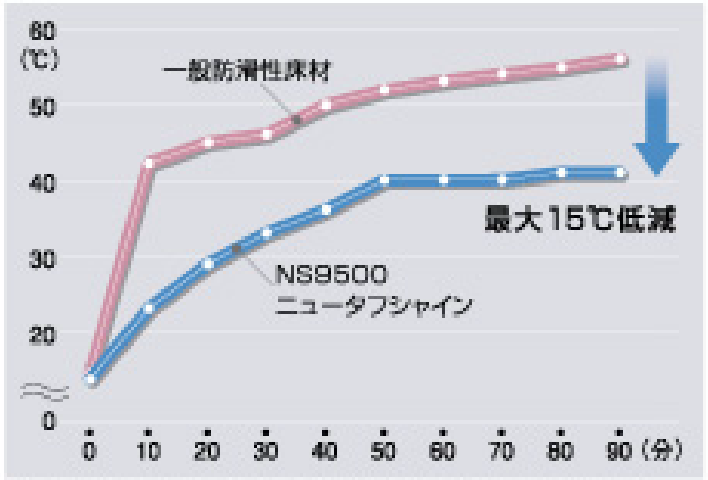
新製品紹介②（住宅・環境対応）

ニュータフシャイン　遮熱性防滑ビニル床シート

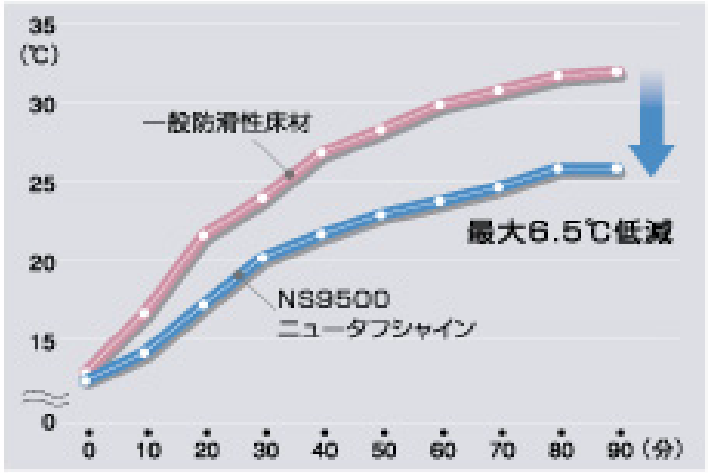
【 特 徴 】

◆ 高い遮熱効果により
① 階下居室内の温度上昇を軽減
② 床材表面の温度上昇も抑制
→冷暖房効率向上・CO_2削減

■表面温度比較



■実験箱内温度比較（遮熱性能実験データ）



※弊社設定条件下での測定結果であり、保証値ではありません。

新製品紹介③（環境対応）

ノンワックスリューム　ビニル床シート

【 特 徴 】

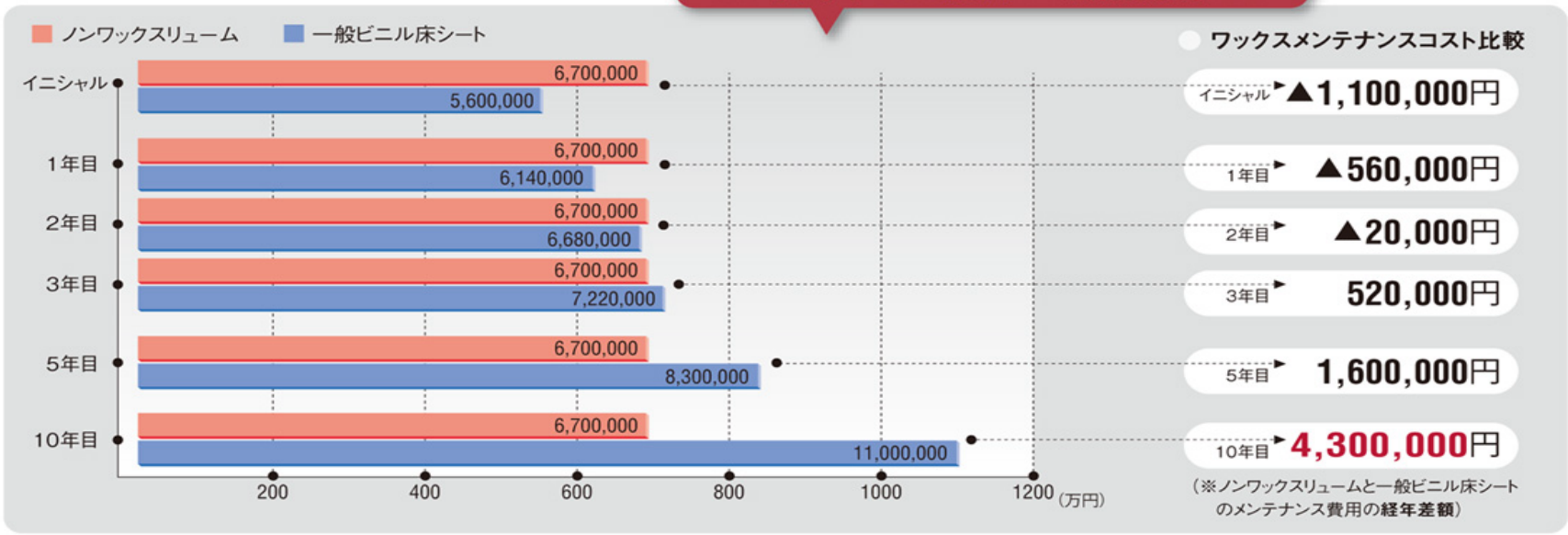
- ◆ ワックスメンテナンスが不要
- ◆ 優れた耐摩耗性
- ◆ 高い抗菌性能と耐薬品性能

↓

大型医療施設や老建施設向けに最適

■ランニングコストの比較（1,000㎡にてコストシミュレーション）

10年間で430万円※の削減効果！！



重点戦略を実現するためのインフラ強化

プロモーション技術の進化

- 環境配慮型サンプル帳の発行
- 生活者様向け販促政策実施（WEB他）
- 市場別分冊化・装丁統一の実施

環境配慮型見本帳
壁装材「ＰＯＷＥＲ１０００　2009-2012」

『POWER 1000 2009-2012』の見本帳特徴

- ◆ 見本帳サイズの縮小と軽量化を実施
- ◆ 取っ手部に回収したカーテン見本帳の取っ手をリサイクル使用

↓

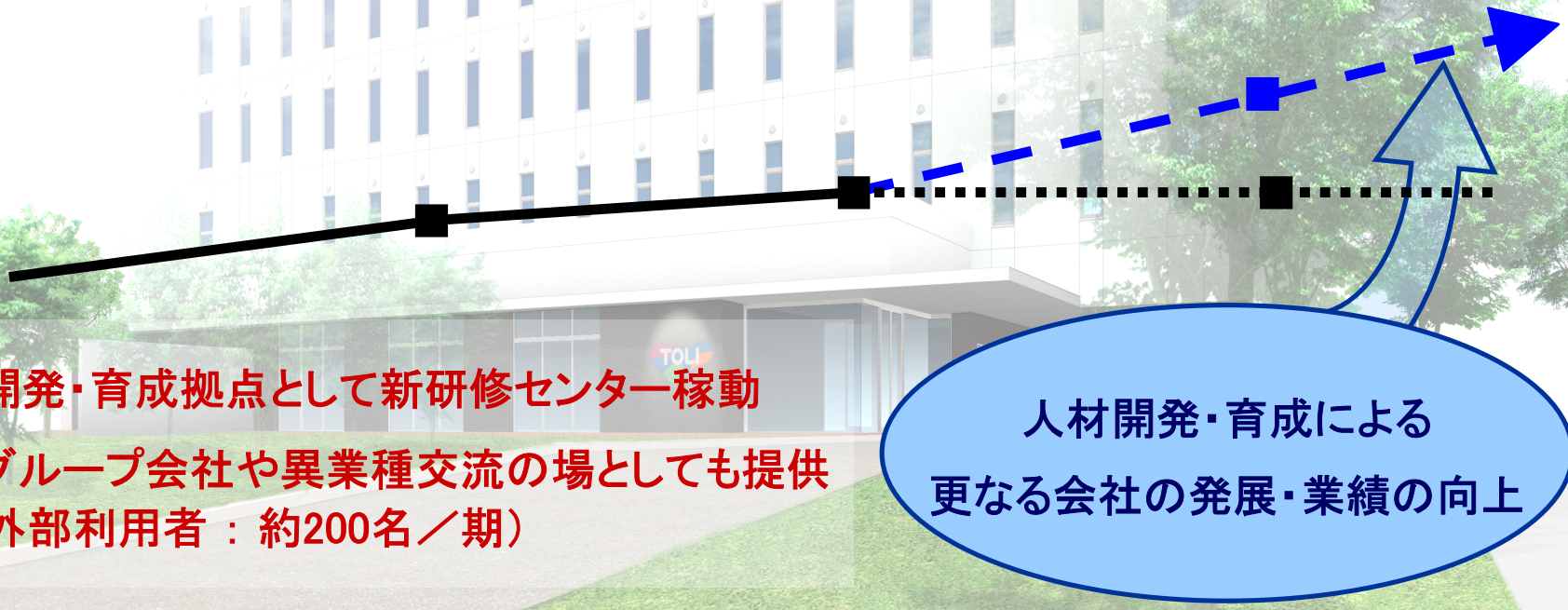
紙資源の節約（前回サンプル帳比：▲38％／冊）と
輸送・廃棄時のCO_2削減（同▲30％／冊）を実現した環境配慮型見本帳

重点戦略を実現するためのインフラ強化

人材開発・人材育成

【人材育成理念】 社員の成長と幸福を実現し、会社の発展および社会に貢献する

- ■ 長期ビジョンに基づく人材育成
- ■ 技術・ノウハウの伝承
- ■ 教育研修体系、人事制度の整備
- ■ トライする文化と風土の醸成



人材開発・育成拠点として新研修センター稼動

→ グループ会社や異業種交流の場としても提供
（外部利用者 ： 約200名／期）

Ⅲ. 将来の成長に向けた施策について

対処すべき課題

原油高騰や少子化などに伴う国内建築需要減少により、
当社の事業環境は大きく様変わりしている

中期経営計画各目標の達成・将来の成長を実現していくために、
抜本的な構造改革を実践し、激変の時代に備えていくことが不可欠

今後実施する施策

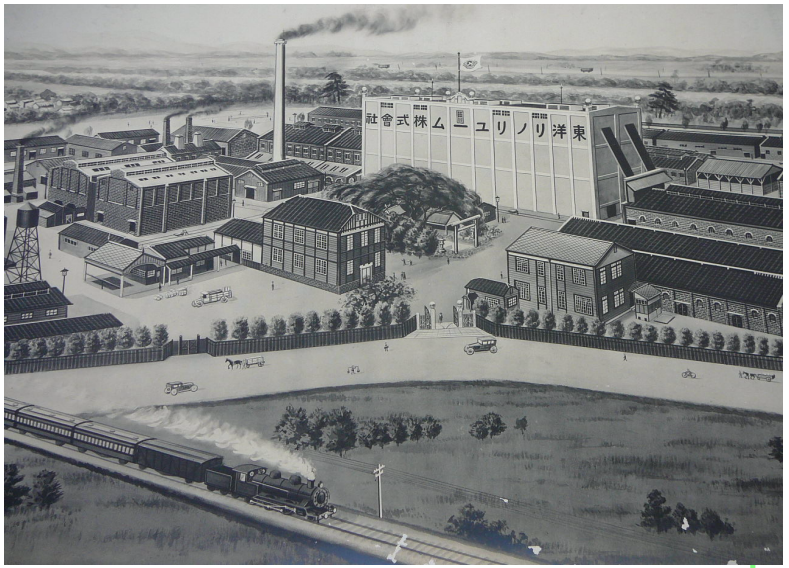
【中期経営計画指標達成に向けた追加施策】

- ソリューション型事業モデルの早期確立による収益力強化
- 成長に向けた積極的研究開発活動実施
- 代替材料の研究による原価低減
- 販管費の効率的運用（固定費の圧縮・管理可能費の削減など）
- 既存事業での収益改善策の推進

中期計画以降の更なる成長に向けて **売上規模の拡大** を図りつつ、
売上高営業利益率を向上すべく構造改革を実行する。

創立90周年を迎えて

設立当初の本社



1919年（大正8年） 設立登記

2009年12月1日 創立90周年迎える

※これまで様々な先進的商材を開発

【主な国産第一号の製品】

1920年 リノリューム発売

1972年 クッションフロア発売

1983年 タイルカーペット発売（塩ビバック品）

1998年 ケナフウォール発売

これからも「環境保全」「安全品質」を最優先課題として、創業以来の個性豊なものづくりで住生活空間へ魅力ある製品の提供を約束します